



戦闘訓練



令和6年1月23日

我々海上自衛官にとって、主に海上における行動が任務ではありますが、主要な施設等は陸上にあり、いざという時は我々自身で護らなくてはなりません。そのために陸上警備があり、本訓練では、陸上戦闘について訓練します。



白い粒みたいなのは雪です。

この日の気温は3度。佐世保では珍しく雪が降っていました。風も強く、めちゃくちゃ寒かったです。私も防寒はしっかりと行っていましたが耳が千切れそうでした。教官も実施するか迷う状況でしたが、学生たつての希望もあり決行となりました。士気は旺盛です。





銃口になにか異物が入ると弾を撃てないばかりか、暴発してしまう恐れもあるため、伏せている時も銃口は絶対に直接地面に付けないよう間に手を入れて異物の侵入等を防ぎます。



ほふく前進の際も同様です。



分隊ごと陣形を作り、その形を崩さないよう呼吸を合わせてチームとして動きます。個人プレーに走ると集団としての力が発揮できません。



脅威の高さに応じて走ったり、ほふく前進を段階的に使い分けて移動します。



脅威度が高い時にはこのように腹を地面にこすりつけるように腕の引きつけで移動するほふく前進もあります。

最後に元陸自隊員が
陸自式のほふく前進の
展示をしてくれました。
陸自の方が種類が多い
みたいです。



訓練終了後の戦闘服は当然ながらかなり汚れて
いました。必死に訓練したので寒くはなさそうで
したが、体が冷える前にしっかり体の手入れをし
て風邪をひかないようにしてくださいね。

寒い中お疲れさまでした。